



【指数銘柄入れ替え】

## SOX 指数（フィラデルフィア半導体株指数）

2243

グローバルX 半導体 ETF

2024年9月24日

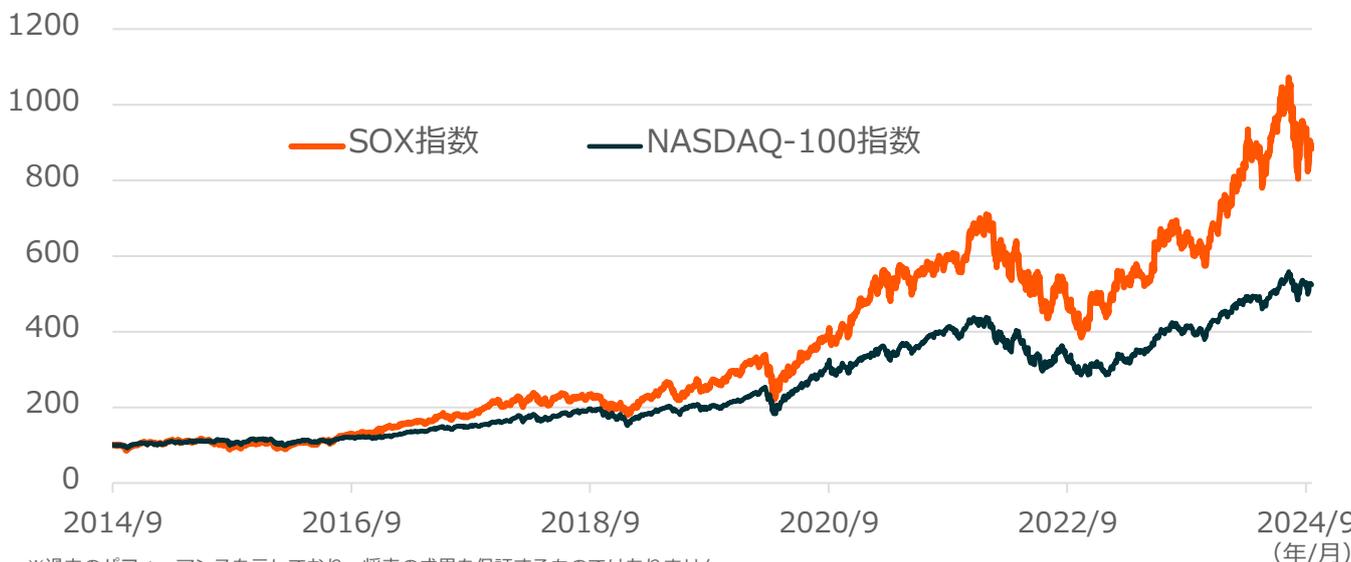
平素は当ETFをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。  
指数算出会社による9月の定期リバランスにおいて指数構成銘柄の入れ替えが行われました。  
つきましては新規採用・除外銘柄についてお知らせいたします。

## 新規採用・除外銘柄

新規採用銘柄		除外銘柄	
ARM	ARMホールディングス	ACLS	アクセリス・テクノロジーズ
CRUS	シーラス・ロジック	ALGM	アレグロ・マイクロシステムズ
MTSI	MACOM テクノロジー・ソリューションズ・ホールディングス	RMBS	ラムバス
ONTO	オント・イノベーション	WOLF	ウルフスピード

※指数の銘柄選定方法については、[ETF紹介ページ](#)の「月次レポート」をご覧ください。※ETFのポイントについては[紹介動画](#)で解説しています。※個別銘柄を推奨するものではありません。

## 指数パフォーマンス（米ドル建て、配当込み）



※過去のパフォーマンスを示しており、将来の成果を保証するものではありません。

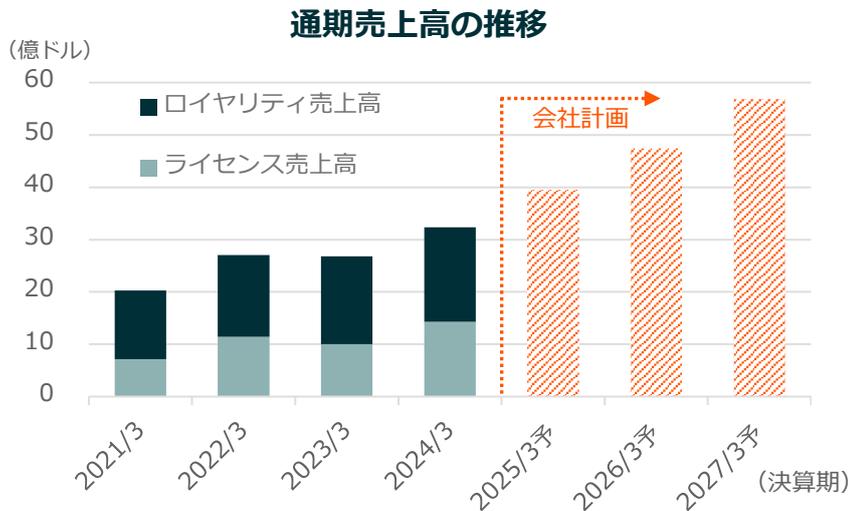
(注) 期間は2014年9月1日から2024年9月18日の日次、起点を100として指数化（出所） BloombergよりGlobal X Japan作成



## 新規組入銘柄紹介 – ARMホールディングス（ARM） –

英国に本社を置く半導体設計企業。1990年にアップルを含むハイテク企業3社の合併企業として設立された。2016年のソフトバンクグループによる買収後、2023年9月に米国のNASDAQ市場に再上場した。

売上はライセンス売上(ライセンス供与時に受領)とロイヤリティ売上(半導体出荷時に受領)から成る。世界中で千以上の企業と提携しており、現在スマホの99%に同社設計の半導体が使用されている。近年はデータセンター向け半導体市場などでもシェアを拡大中。



※個別銘柄の推奨、今後の組入を示唆・保証するものではありません。(注) 25/3期は会社予想の中央値、26/3期と27/3期は会社計画 (出所) 会社資料よりGlobal X Japan作成

## 入れ替え後の指数組入全30銘柄（時価総額順）

コード	銘柄名
NVDA	エヌビディア
TSM	台湾セミコンダクター [TSMC]
AVGO	ブロードコム
ASML	ASMLホールディング
AMD	アドバンスト・マイクロ・デバイセズ
QCOM	クアルコム
TXN	テキサス・インスツルメンツ
AMAT	アプライド・マテリアルズ
ARM	ARMホールディングス
ADI	アナログ・デバイセズ
LRCX	ラムリサーチ
KLAC	KLA
MU	マイクロン・テクノロジー
INTC	インテル
MRVL	マーベル・テクノロジー

コード	銘柄名
NXPI	NXPセミコンダクターズ
MPWR	モノリシック・パワー・システムズ
MCHP	マイクロチップ・テクノロジー
ON	オン・セミコンダクター
GFS	グローバルファウンドリーズ
TER	テラダイ
ENTG	インテグリス
SWKS	スカイワークス・ソリューションズ
COHR	コヒレント
QRVO	コルボ
ONTO	オント・イノベーション
AMKR	アムコー・テクノロジー
MTSI	MACOM テクノロジー・ソリューションズ・ホールディングス
LSCC	ラティスセミコンダクター
CRUS	シーラス・ロジック

※個別銘柄の推奨、今後の組入を示唆・保証するものではありません。(出所) Global X Japan作成



## 半導体と長期積立投資

世界の半導体市場は、ゲーム機やデジタル家電、PCなど電子機器の普及に加え、スマートフォンが登場・急速に普及したことで順調に拡大してきました。

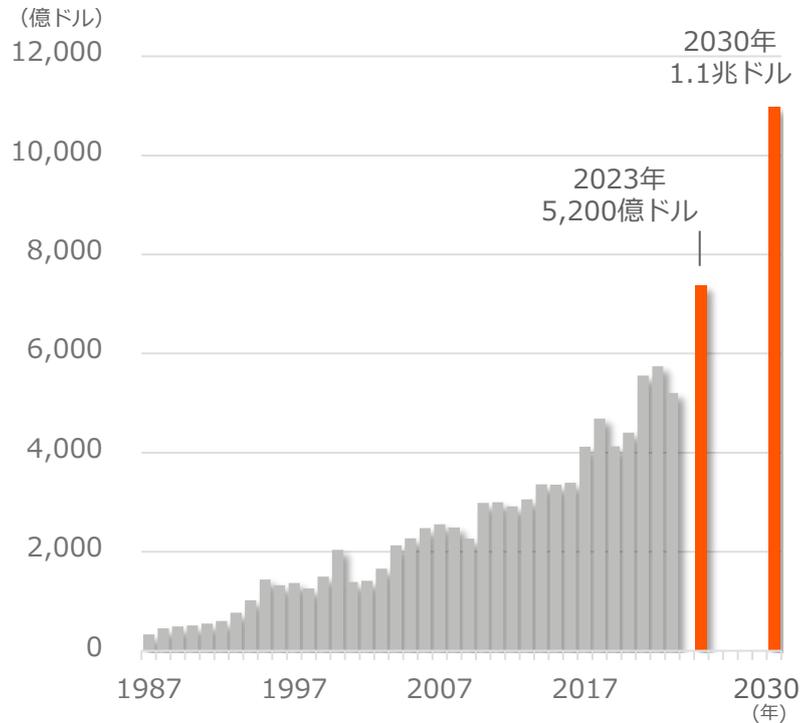
今後もデジタル化の進展に伴い幅広い用途で半導体の需要が高まると見込まれるほか、生成AIなどの新たな需要がけん引し、世界の半導体市場売上高は2030年に1.1兆米ドルへ拡大すると予想されています（図1）。

世界の半導体関連銘柄は長期的に高いパフォーマンスを発揮しており、SOX指数は過去約7年間で5倍超となりました（図2）。半導体は今後も高い成長が期待される分野であり、早い段階から投資を始めることが有効だと考えています。

しかしながら、半導体関連銘柄は値動きが大きい特徴があります。網掛けをしている部分は当時の最高値から10%以上下落した局面です。約7年間で12回記録しています。下落時のスピードは早く、また下落の底をピンポイントで狙って投資するのは困難です。一方、短期的なスピード調整はあるものの、拡大が続く市場であるため中長期的には上昇しています。

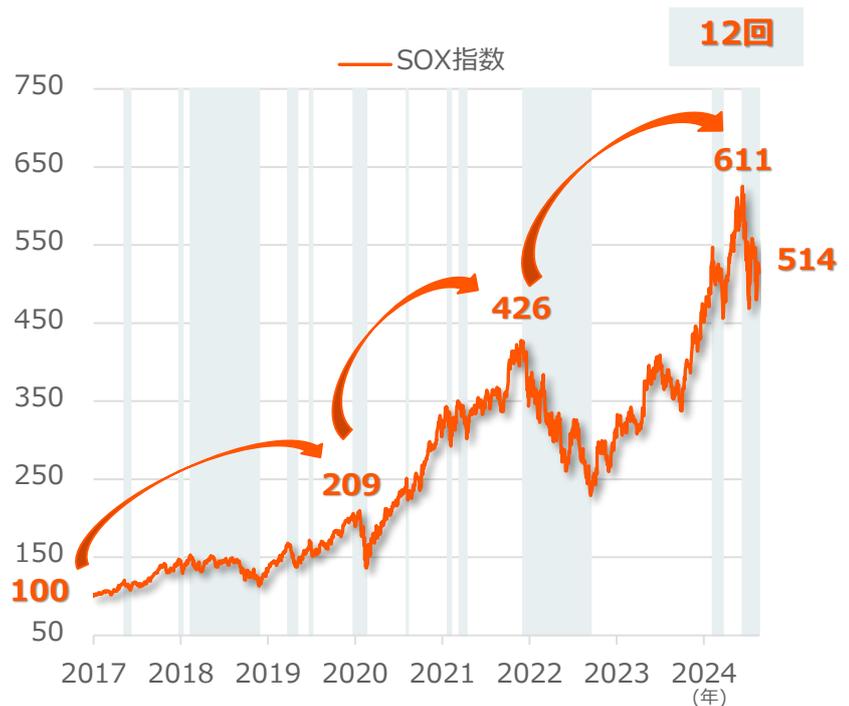
そのため一度投資したら保有を継続すること、また大きく下落したときに焦って売ってしまうのではなく積立投資などで取得単価を下げることで、長期的に大きなリターンとなる可能性があります。

図1：世界の半導体市場売上高



(注) 1987年から2023年まで実績、2025年と2030年は予想  
(出所) 世界半導体市場統計、ASMLよりGlobal X Japan作成

図2：当時の最高値から底値まで10%以上下落した期間 ※網掛け部分



※過去のパフォーマンスを示しており、将来の成果を保証するものではありません  
(注) 期間は2017年1月31日から2024年9月18日。起点を100として指数化（米ドル建て、日次）（出所） BloombergよりGlobal X Japan作成



## <ファンドの目的>

信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を「フィラデルフィア半導体株指数（配当込み、円換算）」の変動率に一致させることを目的とします。

## <投資リスク>

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。**したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。**投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替リスク」、「カントリー・リスク」、「その他」

※基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

## <ファンドの費用>

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
取得時手数料	販売会社が定めるものとします。	取得時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
換金時手数料	販売会社が定めるものとします。	受益権の交換に関する事務等の対価です。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	毎日、次のイ.の額に口.の額を加算して得た額 イ. 信託財産の純資産総額に年率0.4125% (税抜0.375%) 以内を乗じて得た額 口. 信託財産に属する優先証券の貸付けにかかる品賃料に55% (税抜50%) 以内の率を乗じて得た額	
その他の費用・ 手数料	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、監査報酬等を信託財産でご負担いただきます。 ※ 売買委託手数料などの「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。</li> <li>● 受益権の上場にかかる費用および対象指数の商標の使用料 (年率0.06%) ならびにこれらにかかる消費税等に相当する金額を、受益者の負担として信託財産から支払うことができます。 ※ 提出日現在、商標使用料は信託財産の純資産総額に、年率0.06%以内を乗じて得た額となります。 ※ 提出日現在、上場にかかる費用は以下となります。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間上場料：毎年末の純資産総額に対して、最大0.00825% (税抜0.0075%)</li> <li>・追加上場料：追加上場時の増加額 (毎年末の純資産総額について、新規上場時および新規上場した年から前年までの各年末の純資産総額のうち最大のものからの増加額) に対して、0.00825% (税抜0.0075%)</li> </ul> </li> </ul>	

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

### ● 指数の著作権等について

Nasdaq®, PHLX Semiconductor Sector Index™, SOX<sup>SM</sup>は、Nasdaq, Inc. (以下、関連会社を含めて「企業」という)の登録商標であり、Global X Japan 株式会社の使用のためにライセンス許諾されています。本製品は、その合法性または適合性に関して、企業により何ら見解を示しておりません。本製品は、企業により発行、保証、販売されまたは宣伝しているものではありません。企業は、本製品に関して一切保証せずまた一切責任を負わないものとします。

### ● 当資料のお取扱いにおけるご注意

当資料は、Global X Japan 株式会社作成した情報提供資料です。ETFを金融商品取引所で売買される場合には、委託会社作成の投資信託説明書（交付目論見書）は交付されません。売買をお申込みになる証券会社に、当該取引の内容についてご確認ください。金融商品取引所における取引価格と基準価額は異なります。金融商品取引所における価格情報等については、売買をお申込みになる証券会社にお問い合わせになるか、ETFが上場する金融商品取引所のウェブサイト等をご覧ください。株式または金銭の抛出により当ファンドの取得（応募、追加設定）をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社（指定参加者）よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認ください。

当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。また、当資料中における運用実績等は参考とする目的で過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみならず実質的な投資成果を示すものではありません。また、当資料の内容についての著作権は、当社その他当該情報の提供元に帰属しています。また、当資料で掲載した画像等はイメージです。

分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

当資料でご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ETFに組入れることを示唆・保証するものではありません。

Global X Japan 株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3174号 一般社団法人日本投資顧問業協会会員 一般社団法人投資信託協会会員